

洪水・高潮ハザードマップの全戸配布を

赤羽目たみお議員



台風19号では、江東区の水害対策について様々な課題が浮き彫りになりました。赤羽目議員は、日本共産党が行った調査や区民から寄せられた声をもとに、区内に1台もない広

報車の確保や防災ラジオの普及促進を図るなど区民への情報伝達の拡充を求めました。

避難所問題では、避難所に指定されている学校のトイレの洋式化やエレベーター設置を急ぐべきと質問。さらに、ペット同伴で避難できる態勢の確立等を求めました。

区は、「ペットとの同行避難については、検討課題」と答弁しました。

また、区民の関心が高まっている今こそ、改定される洪水・高潮ハザードマップを全戸配布し説明会開催と合わせ周知徹底を図るべきと迫りました。

地域医療の後退を許すな

国は、医療費削減のため、江東区にある東京城東病院など424の公立・公的病院を再編・統合し病床を削減しようとしています。

赤羽目議員は「医療現場や全国知事会等から怒りの声が上がっている」「地域医療を後退させないために国や都に再編・統合は行わないよう求めるべき」と質問。区は「地域に必要な医療機関であり国や都の動向を注視していく」と答弁しました。

また、東京都が都立墨東病院を独立行政法人化に向け検討を進めている問題を取り上げ、独法化に移行されると周産期医療やがん医療など不採算の医療が縮小されかねないとし

て、都に検討中止を求めよと迫りました。区は「墨東病院の経営形態の変更は必要な検討」と答弁しました。

難聴対策の充実を

難聴対策では、補聴器支給事業の相談・調整

体制などの充実、公共施設にヒアリンググループの設置促進を求めました。

区は「検討していく」と答弁しました。



豊洲文化センターのヒアリンググループを視察する区議員

議会改革や区民サービス向上を提案

第4回定例会

陳情者の意見陳述の機会を求める 陳情が不採択に

大つきかおり議員



陳情者が自民、公明、民政、あ維未などの反対で不採択となりました。

会議規則には「参考人として委員会に出席を求めることが出来る」という規定がありますが、これまで「参考人制度」が活用されたことはありません。

議会運営委員会では、「江東区政を考える会」から提出されていた「請願・陳情の審議において提出者に意見陳述の機会を設けることを求める

大つき議員は、「23区では15区で陳情者の意見陳述の機会が設けられている」「区民の声を反映させるために、江東区でも制度を作るべき」と

城東地域にコミュニティバスを

正保みきお議員



ス停に行くのにも長い距離を歩かねばならず」「公共施設や商店街、駅などを結ぶことで区民の暮らしの足を確保し、便利で快適な生活ができるよう、同バスの運行が必要」だとして、区への働きかけを求めるものです。

防災・まちづくり・交通対策特別委員会では、区民からの「城東地区にコミュニティバスを走らせることを求める陳情」が審議されました。陳情は、「幹線通りから離れた地域に住む人たちは、バ

正保みきお委員は「現在運行している南部地域の『しかぜ』に加え、城東地域においても、交通不便地域の解消のみならず、地域振興や文化・観光など、地域の魅力アップ、まちづくりの視点からも積極的に導入すべき」との意見を

昭和大学江東豊洲病院の用地 区が今後も無償貸付へ

江東区は、昭和大学江東豊洲病院の土地について、平成22年からの10年間を無償貸付してきました。さらに今後10年間についても、無償貸付を基本に検討するとしています。

同病院の整備にあたっては、区が都から40億円で購入した土地を無償で貸付、さらに、建設費の半分75億円を支援。今後も無償化を続けられれば31億5千万円

の収入が区に入らず、民間病院に総額146億5千万円もの莫大な税金が注ぎ込まれることとなります。

安易な税金投入は見直しを

正保議員は、「開院してからこの5年間の累積赤字は、111億円に膨らんでいる」と指摘。「法人に対し経営健全化計画の提出すら求めず、安易な税金投入は区民の理解を得られない」と批判。無償貸付を含む区の財政支援のあり方の見直しを求めました。

都有地活用

枝川1丁目に認可保育所新設

枝川1丁目の都有地に私立認可保育所が整備されます。定員100名。令和2年春に保育運営事業者を公募・選定し、10月から工事着手。令和4年4月の開所予定です。日本共産党区議団は、都有地活用による認可保育所の整備を繰り返し求めてきました。



南部地域を走るコミュニティバス「しかぜ」

障害者の駐車場利用料を全額免除へ

これまで日本共産党区議団は、障害者の区内公共施設の駐車場利用料を減免するよう求めてきました。その結果、今年4月より、障害者のスポーツ・文化芸術分野への参画を推進するため、区内すべての文化・スポーツ施設等における障害者の駐車料金を全額免除となります。

述べ、区の考えをただししました。交通対策課長は「全庁的に調査・検討する」と答弁しました。

「補聴器購入に対する国の助成制度の創設を」 共産党が意見書提案

第4回定例会で共産党区議団は「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める意見書」を提案しました。難聴は認知症の危険因子とされており補聴器普及が求められている一方、購入金額は高額で保険適用にならず全額自己負担となっていることから、国に購入費助成制度の創設を求めたものです。調整会議であ維未会派が反対したため採択に至りませんでした。

保育料に続き 学校給食費も値上げ

山崎区長は、相次ぐ区民への負担増を行おうとしています。第4回定例会には、0歳から2歳の保育料を来年4月から5%引き上げる条例が提案されました。日本共産党は、「子育て支援に逆行する」として反対しましたが、自民、公明、民政、あ維未などの賛成で値上げされることになりました。

子育て世帯への負担増はそれだけではありません。学校給食費も物価上昇や消費税増税を理由に来年4月から値上げが計画されています。

区施設の使用料20%アップ 国保料も大幅値上げ

さらに、文化センターやスポーツ施設の使用料も20%の値上げ、毎年負担増が繰り返されている国民健康保険料も値上げが計画されています。実質賃金の低下や年金の引き下げに加え、10月からの消費税増税で、区民の暮らしはますます厳しくなるばかりです。一方、江東区は、過去最高の1366億円もの基金の溜め込みをおこなっています。区民への負担増を行う必要など全くありません。